

投資事業評価調書（継続）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (課長補佐兼防災係長 太田 吉哉)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	地すべり対策事業	事業名	事業区間		総事業費	10.0 億円
		地すべり対策事業〔黒田地区〕	美方郡村岡町黒田		内地補償費	0.02 億円
所在地			事業採択年度	着工年度	完成予定年度	進捗率 (内用補進捗率)
美方郡村岡町黒田			H6	H6	H20	56% (56%)
事業の目的			事業内容			
<p>当地区の地すべり被害想定区域には人家及び国道・河川等公共施設があることから、地すべり災害を未然に防止し、県民の生命財産と公共施設の保全を図ることを目的としている。</p>			<p>地すべり防止区域面積 25.30 ha 集水井工 11基 集水ボーリング工 11,000m 横ボーリング工 4,700m</p>			
進捗状況		<p>当地区は、大規模な地すべりブロックとその末端に位置するブロックが相互に関連しながら活動するという特徴を有している。 これまで地すべり地末端部のブロックから地下排水対策を進め、現在約56%の進捗である。</p>				
評価視点		評価結果の説明				
(1)必要性		<p>当事業は、国道及び河川沿の地すべりブロックの対策はほぼ完了しているが、その背後に大規模な地すべり兆候がみられ、放置すれば甚大な災害の恐れがある為、引き続き事業を実施し、地すべり災害を未然に防止する必要がある。</p>				
(2)有効性・効率性		<p>多数の人家、公共施設等を保全 (直接保全対象) 人家：32戸、国道9号：800m、河川：900m、 耕地：19ha、公民館：1棟 事業実施に対し地元協力体制は整っており、円滑な事業執行が可能である。</p>				
(3)環境適合性		<p>対策工の大部分が地下埋設物である為、環境に与える影響は少ない。</p>				
(4)優先性		<p>当地区は、非常に広大な地すべり地であり順次対策工に着手しているが、まだ未着手の大規模な地すべりブロックが存在し、放置すれば災害発生への恐れは依然として強い為、効果を見極めつつ出来るだけ早急に整備する必要がある。</p>				
再評価の結果	継続	左の理由	<p>上記理由により、事業継続が妥当である。</p>			